

図書の窓から

浜田高校図書館
H30.5.30 発行
30-2号



先日、書庫を片づけていたところ、昔の浜高の刊行物をたくさん目にしました。昭和時代の「図書館だより」や「浜高新聞」(10年ほど前まで浜高には新聞部があったのです。ご存知でしたか?)など、どれも歴史を感じるものばかり。昔の刊行物を見ていると、往時の息吹のようなものが感じられる気がします。先述の刊行物は、後世に記録を残すことを目的として作ったわけではないのかも知れませんが、今ではこうして立派な時代の証人となっています。この「図書の窓から」も10年後、20年後には、平成30年を象徴する時代の証人になっているのかも知れません。(ちょっと「後世に記録を残すこと」を意識して執筆してみました。)

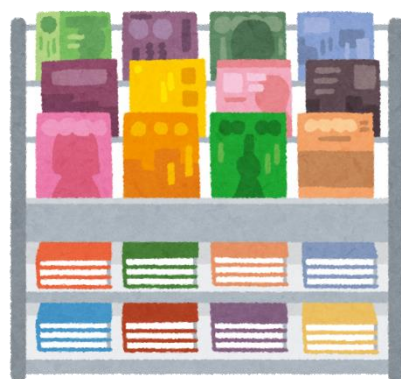


雑誌のバックナンバーをプレゼントします!

お待たせいたしました!今年もこの季節がやって来ました。
図書館で購入している雑誌のうち、保存期間を過ぎたものをプレゼントします。

📖 **プレゼントできる雑誌:** ◆Sports Graphic Number (スポーツ)

- ◆SCREEN (映画)
- ◆音楽と人 (音楽)
- ◆MOE (絵本)
- ◆ダ・ヴィンチ (本とマンガ)
- ◆オレンジページ (料理)
- ◆大学への数学 (数学)
- ◆Newton (科学)



これらの雑誌の
バックナンバーのうち
昨年7月~12月に
刊行されたものが
プレゼントの対象です

※雑誌の付録の一部もプレゼントします!

📅 **応募期間: 6月11日(月)~6月20日(水)**

上記期間中に、図書館内に「プレゼントの対象となる雑誌」と「応募票」と「投票箱」を置いておきます。
ほしい雑誌をチェックし、応募票を投票箱に入れてください。
何冊希望を出しても構いませんが、希望が重複した場合は抽選となります。

📅 **結果発表: 7月2日(月)**

期末試験中に抽選を行い、試験明けに皆さんに結果をお知らせします。

雑誌をチェックしに、久しぶりに図書館に行ってみようかな...という人もいると思います。
図書館にやって来たら、ぜひ本にも手を伸ばしてみましょう!
長いようで短い高校生時代に、たくさんの本と出会ってほしいと思います。

先生方に本を寄贈していただきました!

先生方に本を寄贈していただきました。ありがとうございます!

●大谷学先生 (理科):『金子みすゞの110年』(矢崎節夫/監修、JULA 出版局)
幻の童謡作家と呼ばれる金子みすゞ。数年前には「こだまでしょうか、いいえ、誰でも。」という詩がCMで話題になりました。この本ではみすゞの生涯を辿り、作品が生み出された背景に迫っています。

●盆子原順栄先生 (英語科):『学習漫画 中国の歴史 (全10巻)』(集英社)
中国の歴史の概要をつかむのにぴったりの本。「ビリギャル」こと小林さやかさんはマンガで歴史を学んだそうですが、私も高校時代に世界史のマンガを読み、世界の勉強が大好きになりました。

また、昨年度までお世話になった先生方からも、年度末にたくさんの本をいただきました。

- 阿部志朗先生 (地歴・公民科):
『都市をたたむ:人口減少時代をデザインする都市計画』(饗庭伸/著、花伝社)
『東日本大震災復興支援地図』(昭文社)
『バナナの皮はなぜすべるのか?』(黒木夏美/著、水声社)ほか多数
- 山東晶子先生 (国語科):『国語教科書の中の「日本」』(石原千秋/著、ちくま新書)
『かっこうの親もずの子ども』(椰月美智子/著、実業之日本社文庫)
『The old man and the sea (老人と海)』(Hemingway/著)ほか多数

阿部先生と山東先生からいただいた本はたくさんあり、まだすべてを登録できていません。
登録できたものから新着図書コーナーに並べていますので、手にとってみてください。



追悼 ~本の楽しさを教えてくれた先生~

先日、絵本作家のかこさとし(加古里子)さんが亡くなりました。
かこさんの絵本といえば『からすのパンやさん』や『だるまちゃん』シリーズなどの物語絵本や、『海』『地球』などの科学絵本が有名です。

私は子どもの頃、これらの絵本を何度も繰り返し読みました。『からすのパンやさん』に出てくる「バイオリンパン」「でんわパン」などの愉快的パンと同じくらい、『地球』で紹介されている「すけれとねま・こすた一たむ」「たらしおねま・にっちおいです」などのプランクトンの名前が面白く、夢中になって読んだものです。物語と同じくらい生物が好きな私の礎となっているものは、間違いなくかこさとしさんの絵本だと思います。偉大な先生がまた一人亡くなったことを寂しく感じると同時に、読むこと、知ることの楽しさを皆さんに伝えていけるよう、書物に携わる一人の人間として決意を新たにしました。

図書館日和



!!リード文に出てきた「書庫」ですが、これは図書準備津内にある「手動式集密書架」を指します。
図書館や図書準備室を訪れた人は、司書が図書準備室内にある「謎の棚」を、取っ手をクルクルと回して動かしているのを見たことがあるかも知れません。あの棚には古い本や保存用の新聞、そして浜高関係の資料が所狭しと並んでいます。「学校要覧」「浜田高等学校百年史」「汐里」「読書感想文・感想画集」などなど、浜高の歴史を語る上で欠かせない資料がたくさん。これらを後世につないでいくのも、図書館の重要な役割なのです。

【進路に関する本】

588『はじめよう!「パン」の店』藤岡千穂子/著
780『変わる!日本のスポーツビジネス』谷塚哲/著

【情報・知識】

007『**AI vs.教科書が読めない子どもたち**』新井紀子/著

★AI の誤解や限界を示す一方で、日本人の読解力の低下を指摘。AI 化が進んだ未来の行き着く先のシナリオと教育への提言を導き出す。

🌀**007**『**AI に心は宿るのか**』松原仁/著
★AI が鉄腕アトムのように「心」を宿す日は来るのか。汎用人工知能の研究を続ける著者が、AI と人類の未来を予見する。

016『はなぼん わくわく演出マネジメント』花井裕一郎/著
★著者は演出家であり、長野県小布施町立図書館の前館長。全国の注目を集める図書館を例に、場づくり・人づくり・組織づくりのコツを紹介。

【島根に関する本】

092『郷土石見 107』石見郷土研究懇話会/編
092『出雲の古墳 ADVENTURE』まりこふん/著

★出雲の古墳を案内する、古墳中級者向けガイドブック。見学難易度、必須アイテムなども掲載。

093.8『山陰の神楽写真集』

★石見神楽、出雲神楽、獅子神楽など、地域ごとに異なる神楽の舞姿を写真で紹介する。

【生き方・考え方】

159『猫はためらわずにノンと言う』ステファン・ガルニエ/著
★著者が共に暮らす愛猫の行動から得た気づきを紹介し、自分らしく生きるコツを伝える。

🌀**159**『時に海を見よ』渡辺憲司/著
★卒業生へのメッセージがネットを通して大きな反響を呼んだ校長先生が、3.11後の日本を生きる若い世代に向けてあらためて語る。

【日本史】

210.2『ときめく縄文図鑑』譽田亜紀子/文
★土偶、土器、首飾りなど、縄文時代のさまざまな遺物を紹介。それらがどのような暮らしの中で生み出されたのか、縄文時代の流れと衣食住についても解説。

【日本の地理】

291『ブラタモリ 4 松江 出雲 軽井沢 博多・福岡』

★街歩き番組「ブラタモリ」の、本編では語り切れなかったエピソード、ロケの撮影風景の特別写真、街歩きに便利な地図などを掲載。

【社会評論】

304『超 AI 時代の生存戦略』落合陽一/著

★AI 時代の「生き方」「働き方」「生活習慣」はどんな形なのか。超 AI 時代を生き抜いていくために必要なことを解説する。

【政治】

312『社会をちょっと変えてみた』駒崎弘樹、秋山訓子/著

★身近に転がる不都合を自分で解決する方法、ロビイング。「普通の人」が普通に政治を動かしていった7つの事例と、思い立ったら今からやれるマニュアルを収録。

【社会学】

月361『あなたの表現はなぜ伝わらないのか』古郡廷治/著

★感情や意思の伝達の原理とそれに使われるメディアについて考え、電子メールの具体的な使い方を紹介。

🌀**365**『団地が死んでいく』大山真人/著

★高度成長期、全国に作られた巨大団地。それから 40 年、建物は老朽化し、住民は老い、街はさびれつつある。団地再生のカギはどこにあるのか。

369『からっぽの冷蔵庫 見えない日本の子どもの貧困』米山けい子/著

★「誰もが食を分かち合える社会」を目指すフードバンク山梨の活動と、そこから見えてきた日本の子どもの貧困の実態や子ども達の思いを伝える。

369『考える障害者』ホーキング青山/著
★身体障害者芸人として 20 余年活動してきた著者が、障害者に対する世間の偽善と建前を指摘し、矛盾と盲点を衝く。

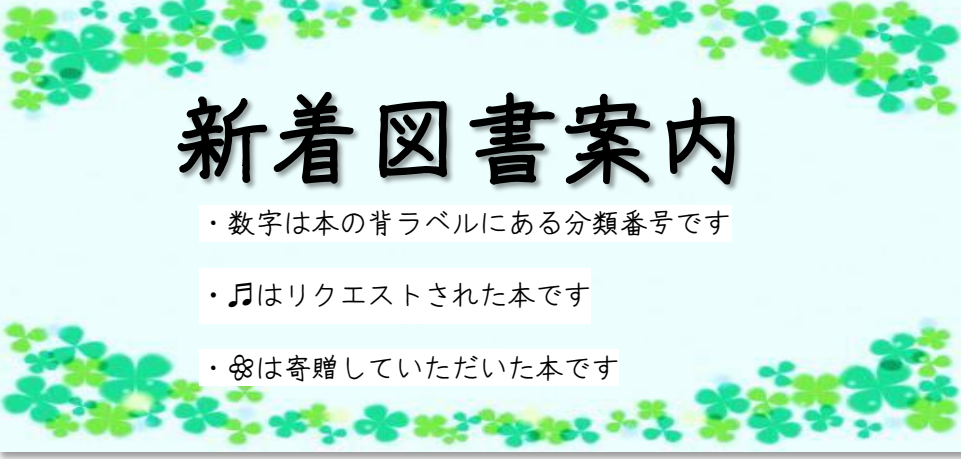
【教育】

🌀**375**『英語教育の危機』鳥飼玖美子/著

★小学校から高校までの英語教育を取り巻く問題点を検証。

【植物】

473『世界は変形菌でいっぱいだ』増井真那/著



・数字は本の背ラベルにある分類番号です

・月はリクエストされた本です

・🌀は寄贈していただいた本です

【新着図書案内】

★5 歳で変形菌と運命的な出会いをし、6 歳より飼育を、7 歳より研究を始めた 16 歳の著者が、変形菌とすごした 10 年間に見たこと、体験したこと、知ったこと、考えたことなどを綴る。

【昆虫】

🌀**486**『バッタを倒しにアフリカへ』前野ウルド浩太郎/著

★昆虫学者である著者が、バッタ被害を食い止めるため単身サハラ砂漠に乗り込み、バッタと大人の事情を相手に繰り広げた日々を綴る。

【医学】

🌀**491**『がん哲学外来へようこそ』樋野興夫/著

★「自分を心配するのは一日一時間でいい」「冷たい医師にもいい医師がいる」。がん哲学外来で、あらゆる相談に答え続けてきた著者が綴る「ことばの処方箋」。

🌀**501**『ご当地電力はじめました!』高橋真樹/著

★長野県飯田市のソーラー、岐阜県いとしろの小水力、福島県の会津電力など、各地でさまざまな工夫をこらして動き出した、市民主導の「ご当地電力」を紹介。

【化学工業】

🌀**576**『汚れの科学』齋藤勝裕/著
★衣料から水まわり、日用品、家屋、体まで、汚れ落としという身近な現象、行動を科学的に解説。

578『トコトンやさしい高分子の本』扇澤敏明/ほか著

★高分子とは何かから、高分子のいろいろな性質と機能性、高分子製品の作り方、生体・環境に関連する高分子までを解説。

【料理】

🌀**596**『昨日より太らないお菓子できました。』阪本久枝/著

【スポーツ】

月783.7『公認野球規則 2018』

【クイズ】

🌀**798**『東大ナゾトレ東京大学謎解き制作集団 AnotherVision からの挑戦状 1・2』

★人気番組の書籍版。頭がやわらかければ解ける…はず。

【日本語】

810『国語は語彙力!』齋藤孝/著
★国語が苦手な中高生に向け、小説や新聞の活用などにも触れつつ、語彙力をふやすコツを紹介。
🌀**810**『カネを積まれても使いたくない日本語』内館牧子/著
★キャスターや政治家も無意識で使うおかしな日本語を指摘し、美しい日本語を指南する。

【掃除】

597『掃除の解剖図鑑』日本ハウスクリーニング協会/著
★掃除のプロが、汚れのレベルに合わせた掃除方法を公開。二度手間を生まない、特別な洗剤にも頼らない効率のいいワザや、キレイをキープする工夫を紹介。

【農業】

🌀**611**『農村(ムラ)の幸せ、都会(マチ)の幸せ』徳野貞雄/著
★都会に頼る農村、農村に憧れる都会という構造を農村社会学の視点で捉え直し、「家族」「食」「故郷」の行方を占う。

【漁業】

661『魚で、まちづくり!』行平真也/著
★縁もゆかりもなかった大分県臼杵市に水産業普及指導員として配属された著者が、水産振興・地域振興に取り組んだ 3 年間の軌跡をまとめる。

【商業】

月673『百円の男ダイソー-矢野博文』大下英治/著
★企業を成長させるために様々な逆境をはね返し、数々の修羅場をくぐりぬけてきたダイソー社長の商業秘話。

【工芸】

750『伝統工芸ってなに?』日本工芸会東日本支部/編
★伝統工芸をジャンルごとに分け、工程写真と図でわかりやすく紹介。人間国宝をはじめ、現役作家の作品が満載。

913『青空と逃げる』辻村深月/著
★10 歳の息子連れで日本各地を逃げる母。怒りと不安の中、バラバラになった家族が再生するまでを描く。

🌀**913**『最後の医者は雨上がりの空に君を願う 上・下』二宮敦人/著
★患者に余命を受け入れる道もあると言いつ切る医者・桐子。一方、かつての同僚・福原は患者の「延命」を諦めない。そんな 2 人が、ある難病の恋人同士を前に再会を果たし…。

913『魔力の胎動』東野圭吾/著
★自然現象を見事に言い当てる、彼女の不思議な“力”は何なのか。彼女は、悩める人たちを救えるのか-。「ラプラスの魔女」の前日譚。
月913『アナログ』ビートたけし/著
★全てがデジタル化する世界で交わした、たったひとつの約束。素性も連絡先も知らないまま、なぜか惹かれあう 2 人の「アナログ」な関係が始まり…。

🌀**913**『あの家に暮らす四人の女』三浦しをん/著
★古びた洋館に住む女四人の日常は、今日も豊かでかしましい。ざんねんな女たちの、現代版「細雪」。
🌀**913**『むかしのはなし』三浦しをん/著

★語られることによって生きのびてきた「日本昔話」を語り変えた書き下ろし。
913.7『もし文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』神田桂一、菊池良/著
★太宰治、コナン・ドイル、小沢健二など、100 人の多彩な文体で「カップ焼きそばの作り方」を綴る。

【外国の小説】
933『オリジン 上・下』ダン・ブラウン/著
★スペインのグッゲンハイム美術館を訪れていた宗教象徴学者ラングドン。人類最大の謎を解き明かす映像を発表するという元教え子のカーシュは、発表の直前、額を撃ち抜かれて絶命する。

～* シリーズ続編入りました *～
430『高校生・化学宣言 PART10』
🌀**913**『札幌アンダーソング 3』小路幸也/著
🌀**913**『響け!ユーフォニアム 北宇治高校吹奏楽部のホントの話』武田綾乃/著
913『悲傷伝』『悲球伝』『悲終伝』西尾維新/著